

令和 7 年度
芳賀町教育委員会点検・評価書
(令和 6 年度事業対象)



令和 7 年 1 0 月
芳賀町教育委員会

— 目 次 —

I	芳賀町における「教育委員会の点検・評価」について	2
1	目的	
2	点検・評価の対象	
3	点検・評価の方法	
4	外部評価委員会の設置	
5	議会への提出及び公表	
II	教育委員会の活動状況	3
1	芳賀町教育委員会について	
2	教育委員会の運営及び開催状況	
3	会議以外の活動	
4	各種会議・行事等への出席	
III	教育文化分野の各施策における事務の執行状況の点検及び評価 ...	6
	学校教育の充実	
	教育環境の充実	
	生涯学習の充実	
	文化活動の充実	
	総合情報館の充実	
	生涯スポーツの充実	
	男女共同参画の推進	

I 芳賀町における「教育委員会の点検・評価」について

1 目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、芳賀町教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、地域の実情と住民ニーズに応じ、より効果的な教育行政の推進に資するとともに、事務の管理及び執行状況についての透明性の確保と町民の皆様への説明責任を果たすことを目的とします。

2 点検・評価の対象

第6次芳賀町振興計画 中期基本計画における教育文化分野に掲げる各施策の令和6年度の実施状況について点検・評価を行います。

3 点検・評価の方法

各施策の目標、主な取組、成果に関する資料を所管課が作成しました。点検・評価の客観性を確保するため、識見を有する第三者からの意見を聴取し、点検・評価を実施します。

評価はAからCで行います。その際、良好であった内容、改善を要する内容等の意見を付すものとします。

A 良好

B 概ね良好

C 改善の余地がある

4 外部評価委員会の設置

点検・評価の客観性を確保し、教育に関し識見を有する者の知見を活用するため、次の構成員による芳賀町教育委員会外部評価委員会を設置しました。

職	氏 名	役職等
委 員	高 山 孝 美	芳賀中学校運動部活動補助員
委 員	今 井 由 佳	芳賀東小学校ボランティアコーディネーター
委 員	齋 藤 裕 美	元まちづくり委員
委 員	森 島 規 仁	前芳賀北小学校PTA会長
委 員	中山このみ	芳賀中学校ボランティアコーディネーター

5 議会への提出及び公表

町議会に報告書を提出するとともに、町ホームページで公表します。

Ⅱ 教育委員会の活動状況

1 教育委員会について

令和 7 年 3 月 3 1 日現在

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	古 塚 秀 一	令和 4 年 10 月 1 日～令和 7 年 9 月 30 日
教育長職務代理者	沼 能 寿 之	令和 4 年 10 月 1 日～令和 8 年 9 月 30 日
委 員	塩 野 由 子	令和 元年 10 月 1 日～令和 9 年 9 月 30 日
委 員	山 口 友 也	令和 3 年 11 月 1 日～令和 7 年 10 月 31 日
委 員	小 林 佐 知 子	令和 6 年 10 月 1 日～令和 10 年 9 月 30 日

2 教育委員会の運営及び開催状況

教育委員会は、月 1 回定例会を、必要に応じて臨時会を開催しています。

令和 6 年度の会議の内容は次のとおりです。

期 日	議案番号	付議案件
R6. 4. 16	議案第 2 1 号	区域外就学について
	議案第 2 2 号	令和 5 年度準要保護児童生徒の認定について
	議案第 2 3 号	令和 6 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
	議案第 2 4 号	芳賀町学校運営協議会規則の一部改正について
R6. 5. 21	議案第 2 5 号	令和 6 年度準要保護児童生徒の認定について
R6. 6. 18	報告第 4 号	区域外就学について
	議案第 2 6 号	令和 6 年度準要保護児童の認定について
	議案第 2 7 号	芳賀町男女共同参画推進庁内連絡会議設置規程の一部改正について
R6. 7. 30	報告第 5 号	準要保護児童の認定取り消しについて
	議案第 2 8 号	令和 7 年度使用教科用図書採択について
R6. 8. 20	議案第 2 9 号	区域外就学について
R6. 9. 24	報告第 6 号	財産の取得について（追認）
	議案第 3 0 号	令和 6 年度準要保護児童の認定について
	議案第 3 1 号	芳賀町スポーツ功労者表彰について
R6. 11. 19	報告第 7 号	区域外就学について
	議案第 3 2 号	教育委員会の外部評価について
R6. 12. 17	報告第 8 号	区域外就学について
R7. 1. 21	報告第 1 号	就学指定校の変更について
	議案第 1 号	令和 6 年度準要保護児童生徒の認定について
	議案第 2 号	令和 6 年度優良公民館表彰について
R7. 2. 18	同意案第 1 号	芳賀町教育長の辞職同意について

期日	議案番号	付議案件
	報告第2号	令和7年度芳賀町一般会計予算（教育費）（案）の概要について
	議案第3号	令和6年度準要保護生徒の認定について
	議案第4号	令和6年度小・中学校優秀児童生徒表彰者の決定について
	議案第5号	芳賀町読書活動計画（案）の策定について
R7.3.10	議案第6号	芳賀町教育委員会事務局組織規則の一部改正について
	議案第7号	芳賀町スクールバスの管理及び運行規則の一部改正について
	議案第8号	芳賀町総合情報館設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について
	議案第9号	芳賀町立中学校部活動指導員設置要綱の制定について
	議案第10号	芳賀町総合地域スポーツクラブ創設支援事業費補助金交付要綱の制定について
	議案第11号	芳賀町学校給食食材高騰対策補助金交付要綱の一部改正について
	議案第12号	芳賀町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の廃止について
	議案第13号	芳賀町私立幼稚園第二子等保育料減免事業費補助金交付要綱の廃止について
	議案第14号	第4期芳賀町男女共同参画計画（案）について
	議案第15号	令和7年度芳賀町小中学校県費負担職員の異動について

3 教育委員会会議以外の活動

(1) 総合教育会議

町長が招集する総合教育会議で次の議題について協議を行いました。

期 日	協議事項
R6.9.24	(1) 部活動の地域移行について (2) 学校施設の今後の方針について

4 各種会議・行事等への出席

令和6年	4月 1日	教職員異動辞令交付式
	4月16日	奨学生選考委員会
	4月19日	芳賀市町教育委員会連合会研修会及び総会
	5月18日	芳賀中学校体育祭
	5月31日	関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会・研修会
	6月 7日	合同訪問（芳賀東小学校）
	6月18日	教科書展示会
	8月26日27日	教育委員会視察研修
	10月 4日	芳賀市町教育委員会連合会定例会及び教育長教育 委員代表合同会議
	10月13日	町民大運動会
	10月16日	芳賀郡市町教育委員会連合会教育委員研修
	10月19日	小学校運動会
	11月20日	栃木県市町村教育委員会連合会総会・研修会
	11月20日	はがまるふるさと学校（芳賀北小学校）
	12月17日	定期異動懇談会
令和7年	1月 8日	賀詞交換会
	1月12日	二十歳のつどい
	3月10日	中学校卒業式
	3月18日	小学校卒業式
	3月31日	退職・転出教職員辞令交付式

Ⅲ 教育文化分野の各施策における事務の執行状況の点検及び評価

【第7次芳賀町振興計画 基本計画の施策の体系】

目指すまちの姿			
<p>スーパースマートタウン</p> <p>～幸せを実現できるまち～</p>			
3つの将来像	11の重点項目	基本施策	施策
住みやすいまち	利便性が高い	(略)	(略)
	子育てしやすい	(略)	(略)
	学びやすい	教育の充実	学校教育の充実 教育環境の充実
		生涯学習の推進	生涯学習の充実 文化活動の充実 総合情報館の充実
		男女共同参画の推進	男女共同参画の推進
	高齢者や障がい者にやさしい	(略)	(略)
活気あふれるまち	人とモノの流れを活発に	(略)	(略)
	稼げる農業に		
	いつまでも健康に	生涯スポーツの推進	生涯スポーツの推進
持続できるまち	人とまちにやさしい	(略)	(略)
	安心できる		
	つながるコミュニティに		
	情報の流れを活発に		

施策マネジメントシート(R7.9)

将来像	1	住みやすいまち		
重点施策	3	学びやすい		
基本施策	1	教育の充実	所属	学校教育課
施策	1	学校教育の充実	係	学校教育係

方針

- ・知・徳・体・食のバランスの取れた教育を推進し、新しい時代の担い手を育む学校教育を目指します。
- ・地域とともに歩み、誰一人取り残すことなく、すべての人が自己実現ができる学校教育を目指します。
- ・子どもと家庭への支援を強化し、虐待やいじめ、不登校の予防・改善を図り、すべての人が幸福感をえられる学校教育を目指します。

目標

- ・教育の充実
全国学力・学習状況調査や体力・運動能力調査等の結果分析を基に、学力アップ推進会議やこどもの体力向上推進委員会を核として、授業改善や身体活動による体力向上の推進により、学力と体力の向上を目指します。
授業改善では「みんなでわかる、みんながわかる、深い学びのある授業」を目指します。また、探究活動や課題解決学習を通して、持続可能な社会の形成を担うことのできる人の育成に努めます。そのために、学習指導助手やマスタースボランティアを継続配置し、チームティーチングによる授業や個に応じた指導を行い、児童・生徒の学習意欲を高め、確かな学力を育みます。子どもたちが将来、国際社会の広い分野で活躍できるように、義務教育9年間の継続した英語教育に力を入れ、ALT(外国語指導助手)・JTE(英語指導講師)を継続配置します。
体力向上の推進では、保育園・認定こども園での運動遊びを充実させるとともに、小中学校においても大学教授やマスタースボランティア、学生支援員、芳賀町スポーツ教室等と協働して、子どもの体力向上に努めます。
GIGAスクール構想によって導入整備された1人1台端末を効果的に活用し、子どもたちの興味・関心や資質・能力に応じて誰一人取り残すことなく育む「個別最適な学び」と子どもたちの多様な個性を引き出し、可能性を広げる「協働的な学び」の一体的な充実を目指します。
- ・地域・官学民との連携
教育活動の全てを学校運営協議会やはがまるふるさと大学などにより、地域と官学民の全ての人が協働して実現できるようにします。
- ・相談体制の充実
教育支援センターにおける指導の充実を図り、不登校児童生徒や保護者に対し、社会的自立を支援します。相談体制の充実を目指し、町教育相談員や県スクールカウンセラー、町巡回相談員(臨床心理士)と学校、家庭及び関係機関との連携を強化します。保護者の疾病、貧困、その他家庭問題による諸事情や教育に関する不安等、児童生徒を含めた家庭に対し環境面からの支援を図るため、スクールソーシャルワーカーを継続配置します。いじめについては、未然防止を図り早期発見に努めるとともに、県のスクールカウンセラーや町教育相談員と連携した相談体制により早期解決に努めます。
- ・特別支援教育の充実
こども支援委員会、臨床心理士等による巡回相談、教育支援センターの充実を図り、保護者の理解と合意を得ながら適切な教育支援を推進します。保育園・こども園、子育て支援課等の関係機関と連携し、支援の必要な幼児の早期発見に努めます。家庭・学校・特別支援学校・医療機関等との連携、特別支援教育補助員、学生支援員の継続配置と活用を図り、相談支援を推進します。

上位成果指標		単位		2024年度(R5) 基準年	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
1	全国学力・学習状況調査(小中)の全国比(100あたり)	pts	(目標)	101	102	103	104	105
			(実績)	100	103			
2	全国体力・運動能力、運動習慣等調査(小中)の全県比(100あたり)	pts	(目標)	101	101	103	105	107
			(実績)	100	107			
3	GTEC4 技能検定のTotalScore	Grade	(目標)	***	3	3	4	4
			(実績)	3	4			
4	不登校児童生徒数	人	(目標)	18	47	45	40	35
			(実績)	39	50			
5	バランスの取れた教育が実践されている	NSI 値	(目標)	***	51.0	55.0	59.0	63.0
			(実績)	***	未			

令和6年度実績

- ・学校教育の充実のために、各種調査の結果分析を基にして、学力アップ推進会議・こどもの体力向上推進委員会を適宜開催し、推進事業を展開しました。学力面では、各学校の学力向上改善プランを計画し、大学教授等を指導者として研修会を実施し、積極的な授業改善を進めました。体力面では、実技研修会等を実施し、脳と体を機能的に向上させる科学的なアプローチによる教師の指導力向上と体力向上推進に努めました。この他、各学校に学習指導助手を3名ずつ配置し、個別の支援を必要とする子供たちへの適切な支援を実現しました。
- ・英語教育では、各学校にALTを配置し、ネイティブ言語による教育を実施しました。また、JTEを配置し、担任とALTの間の円滑なコミュニケーションを図っています。加えて、大学教授等の専門的な見地を取り入れて、定期的なレッスンプランの見直しを行っています。
- ・教育相談の充実では、医療面・環境面から子供や保護者の不安や悩みの解消に努めています。学校に登校できない児童生徒については、教育支援センターや新規に設置した「校内」支援センターに通所することで教育の保障を図っています。結果、不登校傾向のある生徒が学校に登校できるようになりました。
- ・特別支援教育の充実では、特別支援教育補助員や学生支援員を配置し、インクルーシブ教育の充実を目指し個に応じた指導を実現しています。

主な事務事業					
教育振興総務費	学力向上推進費	体力向上推進費	英語力向上推進費	学校ICT推進費	郷土愛教育推進費
教育相談費	特別支援教育推進費	各学校教育振興費			

事務事業成果指標		単位		2024年度(R5) 基準年	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
1	学力向上研修会の開催回数	回	(目標)	***	8	8	8	8
			(実績)	8	9			
2	体力向上推進委員会の開催回数	回	(目標)	***	3	3	3	3
			(実績)	3	3			
3	英語の授業や活動の時間が楽しいと回答した子どもの割合	%	(目標)	***	88.8	90.0	91.0	92.8
			(実績)	88.8	90.4			
4	保護者の相談件数(教育相談員、SSW)	件	(目標)	***	150	150	150	150
			(実績)	150	146			
5	教育支援センター利用登録者数	人	(目標)	***	14	15	15	15
			(実績)	14	18			
6	医療機関への紹介件数(県リハビリテーションセンター、その他医療機関)	件	(目標)	***	11	10	10	10
			(実績)	11	5			
7			(目標)					
			(実績)					
8			(目標)					
			(実績)					
9			(目標)					
			(実績)					
10			(目標)					
			(実績)					

GTEC Junior < 4技能合計上限スコア > Junior 1 : 400点 Junior 2 : 480点 Junior Plus : 640点

Junior グレード	Junior スコア	該当問題タイプ	到達している力の目安	
5	481~640		中学1~2年生前半程度	英語に広がりをもって使えるようになるレベル
4	365~480		小学校外国語学習2年目	なじみのある英語を使えるようになるレベル
3	285~364			決まった表現を自分なりに使い始めるレベル
2	205~284		小学校外国語学習初年度	知っている表現を理解して、行動できるレベル
1	~204			英語の基本的な決まり文句をいくつか理解できるレベル

※学年は活用目安時期

施策マネジメントシート(R7.9)

将来像	1	住みやすいまち		
重点施策	3	学びやすい		
基本施策	1	教育の充実	所属	学校教育課
施策	2	教育環境の充実	係	学校管理係

方針

- ・子どもたちが安全安心に快適に過ごせる学校教育環境の向上を図ります。
- ・学習支援システム等によって子どもたちが個別最適で協働的な学びに取り組めるように学校教育DXの整備向上を図ります。
- ・地産地消の促進や食と心身の発達に関する学びを通して、子どもたちの健全でたくましい成長を図ります。

目標

- ・学校教育環境の整備
各小中学校の施設、備品等について計画的に修繕等を行うことにより、子どもたちが安全安心に過ごせる教育環境を整備します。小中学校の体育館に空調設備を設置します。また、スクールガードリーダーや青色回転灯パトロール車等を活用し、通学路のパトロールを実施するとともに、通学路の安全点検を実施し、子どもたちの登下校の安全安心を確保します。
- ・ICT環境の向上
国の学校教育情報化推進計画に基づき、学習用端末や電子黒板等のICT機器を始めとして、すべての子どもたちが良質のネットワークが利用できるような環境を整備することで、誰一人取り残すことのない個別最適な学びと多様な個性を最大限に生かす協働的な学びの一体的な充実を図ります。また、教職員や子どもたちの情報活用能力の育成を目指し、ICT支援員による授業支援や教職員研修を行います。合わせて、ICT機器を安定的に運用できるよう学習用端末やネットワーク等の保守管理体制を構築します。さらに、校務支援システム等により、教職員の業務の負担軽減を図り、教職員が子どもたちとより多くの時間を向き合うことができるようにして、良質な教育が提供できるようにします。
- ・学校給食の充実と食育の推進
学校給食の充実、地産地消の推進を継続し、正しい食生活や望ましい食習慣を身につけさせるとともに、健全な心身の発達を促すことができるように、学校教育活動全体で食育の推進を行います。
- ・効果的な教育行政の推進
芳賀町子ども憲章に基づき、やりぬく心や思いやりの気持ちを育て、心と体の強い子どもを育むため、教育委員会で施策や事務事業を継続して検討するとともに、総合教育会議により町長と教育委員会が連携して効果的な教育行政を推進します。
- ・人材の育成
地域や企業との連携により小中学生に様々な体験を通して学習する場を提供し、豊かな心と生き抜く力を養います。中学2年生を対象にした社会体験学習(マイチャレンジ)では関係機関と連携協力を図り事業を推進します。また、経済的理由により修学できない方に奨学資金を貸与(無利子)し、人材の育成に努めます。

上位成果指標		単位		2024年度(R5) 基準年	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
1	児童生徒の交通事故件数	件	(目標)	0	0	0	0	0
			(実績)	0	0			
2	児童生徒のICTスキルチェック 平均値	%	(目標)	88	89.0	90.0	91.0	92.0
			(実績)	88.2	未実施			
3	朝食を食べる児童生徒の割合	%	(目標)	91.5	92.5	93.5	94.5	95.5
			(実績)	93.5	95.3			
4	教育環境が充実している	NSI 値	(目標)	56	57.0	58.0	59.0	60.0
			(実績)	54.6	57.6			
5	町内に住所を有し、奨学金返還減免制度を活用する奨学資金貸付者の割合	%	(目標)	51	52.0	53.0	54.0	55.0
			(実績)	49	54			

令和6年度実績

- ・小中学校の体育館空調設備設置工事のため、設計を行い、工事を発注しました。
- ・通学路における合同点検の実施
小中学校、教育委員会、町関係各課、真岡警察署、真岡土木事務所による合同点検を実施、児童生徒の通学における安全確保のための対策を講じました。
- ・給食費補助
食育・地産地消推進用給食補助金として、小中学校の第1子に月額1,000円、第2子は小学校4,700円の半額、中学校5,400円の半額、第3子は小学校4,700円全額、中学校5,400円全額を補助。
また、物価高騰対策費補助金として、小学生月額一人あたり1,100円、中学生月額一人あたり1,300円の補助を学期ごとに実施しました。
- ・奨学金貸付
新規で2名の貸与者を決定しました。令和6年度中の貸与者は合計で15名、46名が返還中、11名が返還を猶予中となりました。
- ・小中学校のアクセスポイントを増設し、校内ネットワークの増強を図り、学習用端末のスムーズな利用を図りました。
- ・校務支援システムの導入により、校務DXの推進を図りました。

主な事務事業					
教育委員会運営費	教育委員会事務局費	食育推進費	体験学習費	各学校管理費	小学校給食調理費
スクールバス運行事業費	各学校管理費	各学校給食調理事業費	各学校整備費		

事務事業成果指標		単位		2024年度(R5) 基準年	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
1	通学路の安全点検により対策を講じた危険箇所数	件	(目標)	27	50	50	50	50
			(実績)	12	11			
2	教員のICT活用指導力平均値	%	(目標)	79	80.0	81.0	82.0	83.0
			(実績)	73.2	77.4			
3	学校給食の町産農産物(野菜)の使用率	%	(目標)	39	40.0	41.0	42.0	43.0
			(実績)	41	41.3			
4	総合教育会議開催回数	回	(目標)	2	2	2	2	2
			(実績)	1	1			
5	マイチャレンジ協力事業者数	件	(目標)	70	32	33	34	35
			(実績)	34	36			
6			(目標)					
			(実績)					
7			(目標)					
			(実績)					
8			(目標)					
			(実績)					
9			(目標)					
			(実績)					
10			(目標)					
			(実績)					

施策マネジメントシート(R7.9)

将来像	1	住みやすいまち		
重点施策	3	学びやすい		
基本施策	2	生涯学習の推進	所属	生涯学習課
施策	1	生涯学習の充実	係	生涯学習係

方針

・住民の主体的な参画のための環境整備や、地域との連携・協働体制の構築を目指します。

目標

・生涯学習講座等の実施
 町民の自ら学ぶ意欲と活動を支援するとともに、活動の機会と場を提供し、各事業の充実を図ります。また、学んだ成果により、地域で活躍できる場の提供も合わせて行います。
 子どもたちには、芳賀町の自然を生かした直接体験を通して、自ら考え遊ぶことで、生きる力を育てるとともに、郷土愛を醸成するきっかけづくりの場を提供します。

・ボランティアの育成及び活用
 地域社会の支え合いの希薄化により、地域コミュニティの衰退が問題となっている中で、地域の課題解決や地域ボランティア活動に取り組む人材の育成が重要であることから、ジュニアボランティア(中学生)、ジュニアリーダー(高校生)の活動を支援し、次世代を担う人材育成を図ります。
 また、地域公民館や生き生き生涯学習友の会の活動を支援し、住民主体の地域づくり、持続可能な共生社会の構築を目指します。

・学校、家庭、地域との連携
 子どもたちの生きる力は地域や社会の多様な人々と関わる中で育まれるものであることから、学校・家庭・地域が連携した多様な教育活動を推進します。

・生涯学習施設の適切な維持管理
 施設の適切な維持管理を行い、安全安心に施設が利用できるよう管理します。

上位成果指標		単位		2023年度(R5) 基準年	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
1	生涯学習に参加しやすい環境がある	NSI 値	(目標)	—	53	54	55	56.0
			(実績)	52.5	52.4			
2	自分の良さを人のために生かしたいと思う 中学2年生の割合	%	(目標)	—	77	80	85	88.0
			(実績)	76.9	91.2			
3	地域や町民の自主的な活動が盛んである	NSI 値	(目標)	—	51	52	53	55.0
			(実績)	50.7	52.2			
4			(目標)					
			(実績)					
5			(目標)					
			(実績)					

令和6年度実績

・生涯を通じいつでも自由に学習機会を選択し、楽しく学び続けることができる環境づくりを進めるため、分館事業(各種講座)の見直しや生き生き生涯学習友の会と連携し、ボランティア講座や出前講座等の学習の場を提供しました。

・生き生き生涯学習友の会では、第20回記念会として「生涯学習ふれあいまつり」を開催し、発表の場として活動を行いました。

・学校運営協議会では、研修会の開催・意見交換・各種取り組みなど、地域と学校が協力して学校運営を支援してきました。
 また、研修会「社会教育による地域づくりの土台づくり」小田圭介氏の講義後、アドバイスをいただいた南小において「何んにもしない合宿」の開催が実現しました。

・生涯学習施設の維持修繕では、生涯学習センターの学習室4の空調機器更新・自動ドア装置取替工事を行いました。

・ジュニアリーダー(高校生)では会員数が増えたこと、中学校と連携をして生徒向けにPRを行ったことで、中高生のボランティア参加者数が増加しました。

主な事務事業					
社会教育総務費	生涯学習推進費	ボランティア活動支援費	青少年健全育成費	唐桶宗山公園野外活動施設管理費	地域公民館運営費
生涯学習講座開催費	生涯学習センター分館管理運営費	生涯学習センター管理運営費			

事務事業成果指標		単位		2023年度(R5) 基準年	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
1	生涯学習講座の参加者数(講座＋家庭教育)	人	(目標)	—	3,900	4,000	4,050	4,100
			(実績)	3,857	4,043			
2	町内の中学生・高校生がボランティアに取り組んだ延べ人数	人	(目標)	—	100	105	110	115
			(実績)	95	119			
3	ボランティア活動などに参加した町民の割合(満足度調査)	%	(目標)	—	38	38	38	38.0
			(実績)	31.4	35			
4	生涯学習施設利用者数(生涯学習センター、分館、唐桶野外活動施設)	人	(目標)	—	35,800	35,900	36,000	36,000
			(実績)	39,315	42,131			
5			(目標)					
			(実績)					
6			(目標)					
			(実績)					
7			(目標)					
			(実績)					
8			(目標)					
			(実績)					
9			(目標)					
			(実績)					
10			(目標)					
			(実績)					

施策マネジメントシート(R7.9)

将来像	1	住みやすいまち		
重点施策	3	学びやすい		
基本施策	2	生涯学習の推進	所属	生涯学習課
施策	2	文化活動の充実	係	文化振興係

方針

・町民の文化活動を支援し将来を担う人材育成に取り組むとともに、町民会館の維持管理に努めます。

目標

・町民会館自主事業の充実
町民のニーズを把握し、幅広い年齢層に対応した自主事業（クラシックコンサート・ミュージカル等）を開催し、文化水準の向上に努めます。明日の芳賀町を担う子どもや青少年向けの自主事業を充実させ、主体的に文化・芸術を楽しむ子どもたちの育成を進めます。

・文化団体・太々神楽・浪漫太鼓の活動支援
文化芸術（無形文化財、伝統芸能、浪漫太鼓）が後世に伝承されるよう、子どもたちへの太々神楽や太鼓等の普及活動により人材育成に取り組み、文化団体を支援します。

・町民会館の適切な維持管理
芳賀町生涯学習施設等個別施設計画に基づき危険度と優先度を踏まえ、その都度に適切な改修工事により長寿命化を図り、持続可能な施設として保持していくため、機能維持を図ります。

上位成果指標		単位		2023年度(R5) 基準年	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
1	伝統文化保存団体数	団体	(目標)	—	10	10	10	11
			(実績)	10	10			
2	文化芸術に親しみやすい環境が整っている	NSI 値	(目標)	—	56.0	57.0	58.0	60.0
			(実績)	54.1	52.6			
3			(目標)					
			(実績)					
4			(目標)					
			(実績)					
5			(目標)					
			(実績)					

令和6年度実績

・会館自主事業では、大人向けコンサート（落語二人会、トリオカルディア）、子供向けファミリーコンサート（ケロポンズ）、敬老祭、NHK公開収録真打ち競演など幅広い世代の方に楽しんでもらえるようなものを中心に実施したことで町民に文化に触れる機会の提供を行いました。

・伝統芸能関係では、文化、太々神楽、浪漫太鼓の各種団体に対して、補助金の支出や活動の場を提供することで支援を行いました。

・会館の施設修繕では、ホール床張替、洋式トイレ更新、排煙オペレーター修繕、空調設備冷温水配管修繕を実施して機能維持を図りました。

主な事務事業					
文化団体育成費	文化財保護費	芳賀浪漫太鼓運営費	町民会館管理費	町民会館運営費	

事務事業成果指標		単位		2023年度(R5) 基準年	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
1	町民会館利用者数	人	(目標)	—	28,500	30,000	31,000	32,000
			(実績)	28,293	25,487			
2	町自主事業参加人数	人	(目標)	—	4,300	4,500	4,800	5,000
			(実績)	3,138	1,920			
3	太々神楽保存団体数	件	(目標)	—	3	3	3	4
			(実績)	3	3			
4	伝統芸能保存団体数	件	(目標)	—	7	7	7	8
			(実績)	7	7			
5	指定文化財数(県・町)	件	(目標)	—	90	90	90	90
			(実績)	90	89			
6			(目標)					
			(実績)					
7			(目標)					
			(実績)					
8			(目標)					
			(実績)					
9			(目標)					
			(実績)					
10			(目標)					
			(実績)					

施策マネジメントシート(R7.9)

将来像	1	住みやすいまち		
重点施策	3	学びやすい		
基本施策	2	生涯学習の推進	所属	生涯学習課
施策	3	総合情報館の充実	係	総合情報館係

方針

- ・質の高い文化芸術を鑑賞する機会を充実させ、文化芸術に対する町民の関心や理解を深めます。
- ・子どもから大人までの読書活動を積極的に推進し、創造力や表現力、心の豊かさを育みます。

目標

- ・機能を複合させた強みの活用
図書館・博物館・文書館の各部門がそれぞれの基本的な役割を果たした上で相互の協力・連携による相乗効果を狙った事業を行うことで、多様化するニーズに応えます。
- ・町の施策と関連つけた事業展開の推進
町民に町政への関心や理解を深めてもらうことを目的に、各課と連携しながら展示や図書の活用を行い、町の施策について積極的に情報発信を行います。
- ・町の歴史、文化の積極的な発信
総合情報館の収蔵資料を有効活用した展示等の事業を行うことで、町の歴史や文化に対する理解を深め、郷土への誇りや愛着増進につなげるとともに、町の歴史・文化を次世代へ継承します。
- ・読書活動の推進、学校や地域との連携
子どもから大人まですべての年代の人の心の豊かさを実現し、生涯学習を支援するため、読書推進事業を、学校や地域と連携しながらより一層推進します。
- ・施設の適切な維持管理
総合情報館は開館から17年が経過しました。来館者の快適かつ安全安心な施設利用を保持するとともに、適正な収蔵資料の管理を行うため、機器の耐用年数等を考慮しながら計画的に維持管理をし、安心安全に利用できる環境を整えます。

上位成果指標		単位		2023年度(R5) 基準年	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
1	総合情報館の総入館者数	人	(目標)	—	72,000	72,500	73,000	73,500
			(実績)	71,374	73,065			
2	町の歴史や文化の積極的な発信、子どもの読書活動が推進されている	NSI 値	(目標)	—	63.1	63.2	63.3	63.4
			(実績)	63.0	61.2			
3			(目標)					
			(実績)					
4			(目標)					
			(実績)					
5			(目標)					
			(実績)					

令和6年度実績

- ・図書館・博物館・文書館それぞれの基本的な役割を果たし、更に連携して事業を行うことで、入館者目標を達成することができました。
- ・図書館事業では、子どもの読書活動推進計画に基づく各事業により、学校や地域と連携しながら子どもから大人までの読書推進に取り組みました。その結果、図書館貸出利用点数、貸出利用人数、町民のカード登録率をそれぞれ昨年度より伸ばすことができ、目標を達成しました。年度末には、「芳賀町読書活動推進計画」を作成し、令和7年度以降の読書推進の方針を決定しました。
- ・博物館、文書館事業では、予定した企画展、テーマ展、講座、ワークショップを実施し、町の歴史や文化を広く発信することができました。また、文書館では、これまでの資料整理の成果として、国立公文書館との共催展示「近代日本のあゆみと芳賀町」が実現しました。県内では初めての開催することができ、展示室入館者の目標についても達成しました。
- ・施設維持管理では、外壁改修工事、館内空調機自動制御盤の交換工事を実施しました。
- ・与能分館については、老朽化による雨漏りが発生しており、継続利用が困難と判断し、与能分館を廃止しました。それに伴い分館で保管していた土器類は旧稲毛田小学校にすべて移管しました。

主な事務事業					
総合情報館管理費	総合情報館図書館運営費	総合情報館博物館運営費	総合情報館文書館運営費	総合情報館分館管理費	

事務事業成果指標		単位		2023年度(R5) 基準年	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
1	図書館貸出利用点数	点	(目標)	—	144,000	145,000	146,000	147,000
			(実績)	143,190	144,858			
2	図書館貸出利用者人数	人	(目標)	—	33,000	33,500	34,000	34,500
			(実績)	33,270	34,400			
3	市民の利用者カード登録率	%	(目標)	—	44	45	46	47
			(実績)	43.6	45.2			
4	展示室入場者数	人	(目標)	—	10,000	10,000	10,000	10,000
			(実績)	9,537	10,405			
5	町の歴史や文化に関する問合せ受付件数	件	(目標)	—	20	25	30	35
			(実績)	12	9			
6			(目標)					
			(実績)					
7			(目標)					
			(実績)					
8			(目標)					
			(実績)					
9			(目標)					
			(実績)					
10			(目標)					
			(実績)					

施策マネジメントシート(R7.9)

将来像	2	活気あふれるまち		
重点施策	3	いつまでも健康に		
基本施策	2	生涯スポーツの推進	所属	生涯学習課
施策	1	生涯スポーツの推進	係	スポーツ振興係

方針

・町民の健康増進と地域の絆づくりを図ります。

目標

・町民がスポーツに親しむ環境の整備
町民の健康増進とスポーツによる地域の交流を促進するため、総合型地域スポーツクラブを設立するとともに、町民体育祭等の実施やスポーツ教室の充実を図り、誰もが気軽にスポーツに親しむことができる環境をつくります。

・安全安心で利用しやすいスポーツ施設の整備
町民がスポーツ施設を安全で快適に利用できるように、定期的な清掃や不具合箇所の修繕等を行います。併せて、必要に応じた施設の改修等を行い、利便性の向上や施設の長寿命化を図ります。

・中学校部活動の地域移行について
中学校部活動の指導を学校から地域へ移行し、地域で指導することで、生徒への技術指導や多様なスポーツ、文化芸術活動の機会を提供し健全な心身を養い、生涯を通してスポーツや文化活動を楽しもうとする態度を育てます。

上位成果指標		単位		2023年度(R5) 基準年	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
1	継続してスポーツをしている町民の割合	%	(目標)	—	43.0	45.0	47.0	50.0
			(実績)	42.2	36.7			
2	スポーツに参加しやすく、安全に利用できる環境がある	NSI 値	(目標)	—	57.0	58.0	59.0	60.0
			(実績)	56.2	52.9			
3			(目標)					
			(実績)					
4			(目標)					
			(実績)					
5			(目標)					
			(実績)					

令和6年度実績

・中学校の部活動地域展開では、検討委員会の開催やスポーツ関係者との協議を行い、令和7年度から4つの部活動について休日の活動をクラブが実施することで合意しました。それを受けて、令和7年3月に芳賀町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会を設立しました。

・町民体育祭等の各種スポーツイベントやスポーツ教室は概ね予定どおりに実施。一部、天候や教室の開催希望が少なかったことにより、予定した回数ができないものがありました。

・安全で利用しやすいスポーツ施設の維持管理のために、体育施設の修繕を行いました。また、町第二体育館では、空調設備設置の設計業務を実施。現在、設置工事(令和7年10月完了予定)を進めています。

・芳賀町B&G海洋センターでは、適切な維持管理のため、物価高騰や最低賃金の増加に対する検討を指定管理業者と行い、クレジットカードによる支払いやQRコードによる支払いに対応するため、券売機の更新を行いました。また、老朽化するろ過機の更新工事を令和7年度に実施するため、助成金の申請手続きを行いました。

主な事務事業					
保健体育総務費	生涯スポーツ振興費	スポーツ教室運営費	町民体育祭開催費	体育施設管理費	海洋センター管理運営費

事務事業成果指標		単位		2023年度(R5) 基準年	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
1	スポーツ教室申込者数	件	(目標)	—	450	470	490	500
			(実績)	454	548			
2	スポーツ施設利用者数(全体)	人	(目標)	—	240,000	250,000	260,000	268,000
			(実績)	224,816	238,490			
3	総合型地域スポーツクラブ加入者数	人	(目標)	—	0	50	100	200
			(実績)	0	0			
4			(目標)					
			(実績)					
5			(目標)					
			(実績)					
6			(目標)					
			(実績)					
7			(目標)					
			(実績)					
8			(目標)					
			(実績)					
9			(目標)					
			(実績)					
10			(目標)					
			(実績)					

施策マネジメントシート(R7.9)

将来像	1	住みやすいまち		
重点施策	3	学びやすい		
基本施策	3	男女共同参画の推進	所属	生涯学習課
施策	1	男女共同参画の推進	係	生涯学習係

方針

・一人ひとりが、社会の対等な構成員として、自らの意志によって社会のあらゆる分野に参画する機会が確保され、個性と能力を十分に発揮し、生き活きと輝ける社会の実現を目指します。

目標

・男女共同参画の推進
 固定的な役割分担意識、性差による偏見や社会制度・慣行等は依然として根強いものがあり、女性のみならず男性にとっても多様な生き方の選択を狭め、個性を発揮する上での支障になっていることから、誰もが自分らしい生き方を選択し豊かな生活が送れるよう環境づくりを進めます。また、女性と男性が災害から受ける影響の違いなどに十分に配慮された女性の視点からの防災活動を推進します。

上位成果指標		単位		2023年度(R5) 基準年	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
1	性別にかかわらず意欲に応じて活躍できる社会になっていると思っている町民の割合	%	(目標)	—	15.0	17.0	20.0	25.0
			(実績)	13.6	11.7			
2			(目標)					
			(実績)					
3			(目標)					
			(実績)					
4			(目標)					
			(実績)					
5			(目標)					
			(実績)					

令和6年度実績

・第4期芳賀町男女共同参画計画(令和7年度から令和11年度までの5年間)を策定しました。

・第4期計画の策定に伴い、男女共同参画を取り巻く社会の動向、町の現状と課題を確認(町民意識の変化や実態、ニーズを把握)するための意識調査を実施しました。

・地域に根ざした活動を展開する町女性団体連絡協議会を支援するとともに、男女共同参画の啓発活動(広報紙・芳賀チャンネル)で連携を図りました。

・宇都宮大学学術指導【男女共同参画推進室・女性リーダー育成オフィス川面充子特任教授】をお招きし、推進員及び町職員向けに研修会を開催しました。また、計画策定にあたり意見の聴取を行いました。

主な事務事業					
男女共同参画推進費					

事務事業成果指標		単位		2023年度(R5) 基準年	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
1	町審議会等の女性委員の割合	%	(目標)	—	28.0	30.0	32.0	35.0
			(実績)	28.4	27.1			
2	芳賀町職員の管理職に占める女性の割合	%	(目標)	—	30.0	31.5	33.0	37.5
			(実績)	23.5	25			
3			(目標)					
			(実績)					
4			(目標)					
			(実績)					
5			(目標)					
			(実績)					
6			(目標)					
			(実績)					
7			(目標)					
			(実績)					
8			(目標)					
			(実績)					
9			(目標)					
			(実績)					
10			(目標)					
			(実績)					

令和6年度芳賀町教育委員会の外部評価結果

施 策 名	学校教育の充実
担 当 課	学校教育課学校教育係
評 価	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校の児童生徒数が増加傾向にあることが気になります、説明の中で、教師のみでなくカウンセラーの方も同席してご両親に適切な教育支援説明をされているとありました。対応できるスキルのある人材を増やせないでしょうか。 ・幼少の頃から英語に親しめる教育がなされていて心強いです。 ・学力、体力共に指導力向上のための研修などを継続されて良い結果が出ている。教師が時間的に余裕をもって研修を受けられるように教師の増員などによる働き方改革も進めていく必要がある。校内支援センターの新設など不登校児童生徒増加を予測した対策が考えられている。オンライン授業、学習塾との連携など更に子供たちの選択が増えると良い。 ・支援学級にさえ通えない子、親との対話の持ち方を更に考えていかなければならないテーマかもしれません。 ・昨年の評価同様、学び合い授業など、主体的な深い学び合いを目指しており、学力向上の支援のみならず、個に応じた指導、課題解決能力を育む協働的な学習の質の向上に取り組む体制が非常に充実していると感じています。また、電子黒板やタブレットの設置で、ICT環境の整備にも取り組んでおり、時代に適応する教育の推進や子供たちの学習意欲の向上に努めており、成果目標を加味しても高く評価できる。全国的な課題でもある不登校児童については、教育支援・校内支援センターの活用によって、支援体制の強化を図っている点、児童生徒のみではなく、保護者に対してのアプローチや関係機関との連携を高く評価します。継続と拡充を願います。 ・インクルーシブ教育の推進に関しては、さらに個に応じた指導の拡充が必要かと感じていますが、多様性をどのような形で尊重するかは非常に難しい問題です。すべての人に歩み寄る（置き去りにしない）教育も必要かと思いますが、小学校では特別支援認定が難しい児童もしくは、親が要望しない児童が学級崩壊を引き起こす事例も散見されました。小学校でケースは異なると思いますが、共生社会を実現するためには、保護者の理解度の向上も必須だと思うので、教育現場が直面している現状を保護者・地域と共有し学び合える機会を作っていただきたいです。 ・不登校児童は全国的に増える一方で、減らすという目標は難しそうなので、フォローできる体制が必要なんだと感じました。
その他意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童の教育支援ですが、改善された事例について要因分析するワーキングチームを創設し、これからの施策に反映させるような仕組みを作られたらいかがでしょうか。 ・英語を学ぶことで海外の生活や仕事がスムーズにできてきます。海外での生活や仕事の経験のある方を学校に招いて、海外で経験したことを話してもらおう。 ・不登校傾向を示した子の保護者へは迅速な対応が必要。相談窓口、子供の状況による対応方法などを明示した一覧を作り活用できると良い。

令和6年度芳賀町教育委員会の外部評価結果

施 策 名	教育環境の充実
担 当 課	学校教育課学校管理係
評 価	B
評価に係る意見	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の交通事故0件は高く評価できると思います。一方、通学路の安全点検ですが、打ち上げ件数に対して11件の検証を更に増やしていただきたい。 ・タブレットと紙の教科書併用にしての学びについては、国内外での動向を検証して進めるべきと思います。 ・小中学校の体育館に空調設備の設置が進められた。通学路の安全点検が継続的に実施され対策が取られている。たくさんの危険箇所があがってくるとのこと、優先して予算を付け、全てに早急に対応できると良い。中学生の登下校の安全確保のために「110番の家」の役割の再考が必要。 ・給食費補助申請用紙は、これからも多い枚数を書かなければならないとのことでしたが、何とか多子世帯の記入書類を減らせないものかと思います。 ・体育館の空調設備を切望しておりました。昨今は空調設備も重要な教育環境の改善のテーマであると思います。通学路の避難ポイントに関しては、町と連携していただければ幸いです。防犯対策や気象災害への対応強化により、子供たちの安心安全を引き続き確保してください。食育・地産地消推進については我々農家がやれることがたくさんあります。農産物の提供のみならず、芳賀町の主産業である農業の魅力をPRする機会を設けていただきたいと思います。他の市町村より積極的な取り組みが多いです。 ・芳賀中の通学範囲はものすごく広いので、急な天候の変化時の待機場所を多めに作り、保護者、児童への周知に力を入れてほしいと思いました。
その他意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを併用した教育については、既に海外で学力の低下や考える力の低下が顕在化されております。日本の官僚の方々には自らの実績に囚われるあまり真剣に考えておりません。芳賀町として有意義なタブレット活用に向けて定期的に検証し、適切な使用について常に注意して、教育現場に反映できる仕組みの構築をお願いします。 ・校務支援システムを有効活用できるように教員のPC活用力向上が進むと良い。 ・雷の日の下校の仕方、親の迎え連絡の改善。

令和6年度芳賀町教育委員会の外部評価結果

施 策 名	生涯学習の充実
担 当 課	生涯学習課生涯学習係
評 価	A
評価に係る意見	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターについては、雰囲気も良く多くの方が様々なことを学び体験し、楽しんでおられます。 ・生涯学習事業実績別紙資料により、多世代を対象に年間を通して様々な講座などが実施されていることが分かる。学んだ成果を地域で活躍できる場として小中学校での学校支援ボランティアを提示してほしい。寺子屋は小学生の利用が多く、中学生の利用が少ない。生徒への周知方法や中学校内教室を会場にするなどの工夫が必要。 ・生涯学習センターでの講座をプリントではなく、カラーの写真付きパンフレットなどで作って、いろいろな場所（スーパー、温泉、道の駅、病院）などに置けば、受講する人が増えるのではないかな。 ・次世代を担う人材育成が重要であると思います。特に中高生のボランティア活動参加者数が増加したことは非常に素晴らしいことだと思います。生涯学習の講座の参加者数も安定しており、引き続き各事業の充実を図っていただきたいです。 ・今は、仕事が忙しい世代なので、あまり意識できていないのですが、老後を考えるといろいろなものに参加したいなと思いますし、老後は人との交流が少なくなるので、集まれる場所としてもいろんな講座があるといいと思います。
その他意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・寺子屋については、とても良い取り組みだと思いました。講師の確保、寺子屋開校の場所など課題もありますが、もっとPRしていただきたい。例えば、授業している映像を芳賀チャンネルで放映、寺子屋で勉強した効果や喜びの事例を広報等でPRするなど。 ・ジュニアリーダースクラブ（高校生）のボランティア活動は実施主体と連絡を取り実態の把握が必要。プレーパークしもたかについては、参加人数が実際と違っている。子供会育成会の活動費について各行政区でどのような活動に利用されているのか現状把握し、町内にある様々な団体と協力するなどして子供会活動支援を実施することで家庭教育支援につなげてはどうか。地域公民館を中学生の学習スペースとして利用可能にし、多世代交流の場を創出してはどうか。

令和6年度芳賀町教育委員会の外部評価結果

施 策 名	文化活動の充実
担 当 課	生涯学習課文化振興係
評 価	B
評価に係る意見	<ul style="list-style-type: none"> ・町民会館でのイベントが各種実施されていますが、入場数にかなりバラツキがある。開催イベントの内容はいいので、多くの町民に来場していただけるアイデアが必要。 ・町民会館自主事業に関しては集客に苦労している様子。事業内容検討会などを設置し、多世代の意見や提案を反映できるとよい。小学生が伝統芸能に触れる機会が増えてきている。人材育成への支援を継続し伝承されると良い。 ・伝統芸能を継承する地域の方や先生方の力が生かされていて素晴らしいです。 ・あまりイベント情報に触れる機会が少なかったので積極的にPRして欲しい。文化芸術の伝承・継承のためにはより努力が必要と感じています。芳賀北小学校で実施したはがまるふるさと学校等では地域文化を扱う機会がありました。大人も子供も学べる機会があれば良いと思います。 ・芳賀町に10個の伝統文化保存団体があることを知りませんでしたので、幼稚園、こども園、小学校、中学校とからめて行事に出てもらうなどしたらもっと知ってもらう機会があるのではと思いました。
その他意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・開催イベントで入場者数の少ないものについては、増やすような案を関係者から打ち上げていただき、試行してみてはいかがでしょうか。例) 生涯学習センター発表会は、いつも関係者の方々のみで発表者以外の方が見に来てくれています。事前に芳賀チャンネルで昨年の発表会の映像放映、入場者への粗品プレゼントなどを行ったらいかがでしょうか。 ・伝統芸能は地域に根差したものが多く地域外の町民は関わりにくいと感じる。

令和6年度芳賀町教育委員会の外部評価結果

施 策 名	総合情報館の充実
担 当 課	生涯学習課総合情報館係
評 価	A
評価に係る意見	<ul style="list-style-type: none"> ・情報館は、図書に加え、イベントでも質の高いものが多いと思います。 ・年間通して工夫を凝らした事業や展示が展開されていて参加者も多い。 ・真岡のmonacaのようなおしゃれな雰囲気のテラス席やインテリアなどを取り入れて、温かいおしゃれな雰囲気が加わると若者うけすると思います。 ・個人的に利用したことはありませんでしたが、積極的な活動を実施していること、利用している方々からも好意的意見が多いことを実感しました。成果目標を概ね達成していることで評価します。 ・あまり図書館を利用しないのですが、キャッシュレス対応が多くなり、お財布を小さいものにしたり、カードを持つ人が少なくなってきたので、利用カードのアプリ化は便利かなと思います。
その他意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・情報館でのイベントは、様々な感動を与えてくれます。芳賀町内のみでは、「モッタイナイイベント」と感じています。芳賀郡市を含め他の市町にもPRして来館していただくように取り組み、芳賀町の認知度を向上させたい。 ・絵本の表紙や裏表紙にバーコードが貼られているが、絵本は表紙から物語が始まっていることを考慮し、絵を邪魔しない場所に貼れると良い。

令和6年度芳賀町教育委員会の外部評価結果

施 策 名	生涯スポーツの充実
担 当 課	生涯学習課スポーツ振興係
評 価	B
評価に係る意見	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の管理不足が多々見られます。 例) ひばりグラウンド(芝の管理不適でグラウンドの軌跡が分からず) 総合グラウンドの陸上用グラウンドがランニングできる状態に管理されていない。 ・芳賀郡市内で見ると施設の老朽化と施設としての能力不足がある。 ・武道館への空調設備の設置が進むと良い。町民体育祭への中学生の参加者増加で活気が出て良い効果があった。町民体育祭の継続を望む町民の声が多い。中学校部活地域展開に向け芳賀町総合型地域スポーツクラブ設立の準備が進められている。町スポーツ教室は種類が多く受講者も多い。 ・外部指導員にうまく入っていただき、先生方の負担を減らしたいと思います。指導方法に先生方と指導員の差が生じていることがあるというところも、連絡や情報共有が必要なのかとも思います。 ・わが町最大の地域交流イベント「町民大運動会を」高く評価しています。ここにかかる労力は、運営・地域ともに多大なものがあると思いますが、地域付き合いが希薄になる中、郷土愛醸成のために芳賀町が誇るイベントだと感じます。町職員の負担はあるかと思いますが、大きな意義あるイベントです。継続を切に願います。他にも気軽にスポーツを楽しめる環境が整備されており、充実していると思います。施設に関しては、町内施設はさほど数は多くはないので、修繕・改善を進めていただければ幸いです。 ・町民大運動会での中学生参加はとても盛り上がり、地域の人とのつながりができて良いと思いました。武道館、剣道道場の冷房ぜひお願いしたいです。
その他意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・各スポーツ施設を定期的に巡回し、不具合箇所の検証を実施する。 ・芳賀町以外の町と比較して施設の規模、使用料金、使いやすさなどについて改善する。 ・使用者から打ち上げられた不具合については、推進日程を明確にし改善可否を判断し推進する。 ・パラスポーツを取り入れてインクルーシブスポーツを推進してはどうか。廃校跡のグラウンドや体育館がもっと有効活用されると良い。 ・芳賀町民大運動会は、地域の若者からお年寄りが共に話をしたり、関わりを持ついい機会になっています。これからも続けて欲しいです。

令和6年度芳賀町教育委員会の外部評価結果

施 策 名	男女共同参画の推進
担 当 課	生涯学習課生涯学習係
評 価	B
評価に係る意見	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味、習い事などへの参画は圧倒的に女性が多い。反面、町の施策に関するイベントについては、男性が多く女性の参画が少ない。 ・町としての事業が乏しい。男女共同参画推進のために具体的に何をすればよいかわからない町民が多いと感じる。家事に費やす時間を調査することで「家事は家族みんなで平等に負担するもの」という意識付けが進めばよい。小中学校でも家事の平等について考える授業があるとよい。育休産休の取得を促進し、子育てしやすい町、女性が働きやすい町を実現したい。主婦、女性経営者、管理職、農家など働く女性たちの座談会を「芳賀町はたらく女性会議」として開催し、女性の発言の場を創出してはどうか。 ・女性の家事労働が男性よりもはるかに多い。仕事を持つ人、主婦を集めた座談会を開き、いろんな情報（自営・会社員）を基に、男女共同参画を進めていってはどうか。 ・男女共同参画については、芳賀町はまだこれから拡充を図り、配慮を推進していくべきかと思います。情報量も少ないため、概ね良好と評価させていただきます。 ・農家が多いため、なかなか難しいところかと思いますが（どうしても男の人だけの稼ぎと思われる）いろんな世代で聞いてもらえるような講演会があるとよいなと思いました。
その他意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・町審議会での女性委員の割合は、40%を目標に進めても良いのでは。30%の目標では、女性の参画意識向上は難しいと思います。 ・女性の参画が増えることで町政へ与える好ましい事例を挙げて女性の参画を促す活動が必要と考えます。 ・男性や子供たちには「避難訓練」という意識で家事への積極的な参加を促せるのではないかと。主婦がケガや病気になり家事ができなくなった時を想定した避難訓練。 ・LGBTの取組みも広げて欲しいです。